



発行所 秋田県合川町役場 責任者(本報係) 松橋新一 (事務課電話4番・14番) (発行部数 2,600)

新年度の施政方針

三月定例町会から



さる十二日開かれた三月定例町議会において、町長は新年度の施設方針を次のように述べました。施政方針は町がこし一年このように進みたいということと予算案の提出とともに町長が議会で述べたものであり、町民のみなさんから深い理解と協力をいただき明るい町づくりへ着実に前進することを望むものです。

基本的な教育と経済

昭和四十年年度が合川町の新予算審議を骨格とする町議会三月定例会にあたり新年度の施政方針について申し上げる。私は、多年にわたり教育と経済は一体でなければならぬと主張してきまして、それが「日暮れて道遠し」で、実際成果は遅々として進まない感がある。昨年その原因を探究して見ました。

もちろん、教育的にも経済的にも東北後進地域としての隔差に起因するものが大きく、とくに財政投入の不完全がもたらす影響も極めて大きいのであります。しかし、それと同等に私たちが当面する町民の協力によって解決しなければならぬ極めて身近な創意が、戦前の戦場は家庭との距離が短かく、とくに

町内にその生活を求めることができることを理想としなければならぬので、当面もとも困難ではあるが職業の移動による町の実質的な人口、世帯の激減を生じないよう諸施策が求められているのであります。国鉄支線の沿線という不利な立地条件下で考えられる工場誘致の問題は、極めて悲観的ではあります。さればとてその夢は決して捨てはならないものと私は考えております。

4月主な予定

- ◇合川中学校入学式 = 1日
- ◇東、西、北、南各小学校の入学式 = 2日
- ◇「おおいだい」の開通式 = 20日
- ◇春の火災予防週間 = 12日～18日
- ◇合川高校入学式 = 13日

経済調査の実施

私は現在まで多年にわたって町政を担当し、町の経済調査の必要を痛感して来たのであります。その調査が単なる学術的意義をもつて満足することは必ずしも町民の意とするところではないとの考え方から、町民の経済充足に地道な中から生気をもたらす調査を委託するに適當な学者を物色中でありました。最近に至り岩手大学教授川本忠平博士に委託することに考えをまとめることになりました。

そのために、予備会議を持ちまして川本教授をはじめ、教室の各先生及び町の助役、教育長等を交えて話し合ったわけであり、経済地理的に地域の物産をもっとも適確に販売換金する組織や、マーケットの確保を主体とした実効性の調査委託に話し合いが成立したので、この調査は部落づくりの一環として全町民の調査への参加による立地経済知識の開発と、それに伴う実行体制、さらには販売

以上申し述べましたような実情のなかにおいて私は教育委員会と協議し、義務教育の学力向上と指導強化のための必要な予算及び合川中学校の全教科にわたる指定校への指定(二カ年間)に伴う必要な予算並びに各小学校の施設改善のための予算を先ず重点的に確保し、父兄が外面から心配するところ、この調査を教育のなかから改善の方向へ進むように配慮しました。



新年度予算きまる!!

＝総額 206,259,000円＝

前年比 45.567.000円の増

昭和三十九年度予算案は、各議案(一四件)を審議する町議会第一回定例会は去る三月十二日に招集され、会期を二十日までの九日間と定め、連日慎重な審議の結果二十日の本会議でいずれも原案どおり可決した。

昭和三十九年度決算は、昭和三十九年度決算見込みにおいて約二百二十万円の赤字となる予定であり、今後診療棟の改築を計画し、利用者へのサービス向上につとめるべく、県に陳情中であり、内定し次第関係案件を新年度中の適当な町議会に提出する方針であります。

町民自治が「三割自治」といわれている一般的な町の財政事情のさらには半分の「一割五分自治」が、町財政事情の現状であります。次いで歳入部門であります。町民自治が「三割自治」(三六・八割)消費的経費(機構、施設を運営する管理費)三千九百二十万一千円(二八・一割)投資的経費三千三百二十九万四千円(二四・四割)からなっております。これは昨年度に高令者の退職等もあってその構成比は減り、また心配された投資的経費は前年比三・五割の増(九百八十七万二千円)となっております。

財政健全化への努力

合川町は、教育的な投資による昭和三十九年度合川中学校分千七百円、昭和三十九年度合川高等小学校分一千万円、合計二千七百万円(実質赤字)をもち、昭和三十九年度未更正予算、昭和三十九年度当初予算、同補正予算等の機会とさらに昭和三十九年度当初予算を含めて合計千九百九十九万九千九百九十九円(昭和三十九年度当初予算では五百万円)の回復を図るよう措置いたしました。

政府が一方的に医師会側に有利な医療制度をはかったので支拂側の団体である国民健康保険財政は全国的に危機にひんしている実情であり、合川町においても昭和三十八、三十九の両年度を通じて約四百四十万円の赤字を予想され、昭和三十九年度においても約二百四十万円の赤字が予測されております。国保は他の健康保険にくらべて本人負担が低率のため、その財政的基盤も極めて浅いのであります。被保険者は国民の比較的税負担もその目的である医療費の支拂と比較して差が高まっており、全国的に各市町村とも税の引上げを余儀なくされ、昭和三十九年度においても昭和三十九年度に一世帯平均九千円の保険料に改定することによって決定いたしました。

税と財政の構造 新年度の町税収入は総額三千二百二十万一千円(内訳町民税五百六十一万五千円、固定資産税一千三百七十五万四千円、軽自動車税百一十四万六千円、たばこ消費税四百四十二万九千八百円、電気ガス税百八十九万八千円、木材引取税四百三十八万八千円、その他一千円)で、予算に占める割合は二・六割であります。

第十回 町制施行記念式

町政功労者などを表彰

町では、三月三十一日十回めの町制施行記念式にあたり、午前十時三十分から町民体育館において記念式を行ない、席上町政功労者一名及び優良納税者四〇八名、国民健康保険事業の優良協力者六七七名が表彰される。

去る昭和三十年三月三十日、合川町として、この声であけてから今年十回めの町制記念式を迎えたが、この意義ある記念式において柴田勝直氏（八幡橋）が別項の功績によって表彰されたほか、町税を連続して完納して町づくりに協力している人々（十五名）一〇名、十年一三三一名、五年一八四四名、一年一八四四名）四〇八名とこの一年間健康に勤め医療費をかけずかつ国民健康保険税を完納し、国民健康保険に著しく貢献している六七七名が表彰をうけ、明るい住みよい町づくりに合意言葉にその幕を閉じる。

柴田さん

経歴と功勞のあらまし

柴田氏は、明治三十四年十一月八日合川町建設課長に任じられ、昭和三十九年五月

昭和二十年五月、秋田県技手を退官後は、旧下野村助役に就任、終戦後の混乱せる社会情勢の中にあつて、よく部下を統率し、融和をはかり、町村合併の機運が高まるや、村長を補佐して村内世論の高揚に努め、地方自治発展のために日夜奔走努力されたのであります。

昭和二十年五月、秋田県技手を退官後は、旧下野村助役に就任、終戦後の混乱せる社会情勢の中にあつて、よく部下を統率し、融和をはかり、町村合併の機運が高まるや、村長を補佐して村内世論の高揚に努め、地方自治発展のために日夜奔走努力されたのであります。

諸施策

地域開発

大野台開発の直接心臓部にあたる金沢地内に無人駅を設置する運動は三カ年に亘って根気よく続けた結果、四月二十日その着工を「おおのだい」として祝望の開通をみることにになりました。

建設事業

昭和三十九年八月十三日の水害で流失した三木田孫七沢林道橋は、既存の上流に永久橋として六百五十六万円をもちて架設され、継続事業として開設してきた林道の残工六十段の完了とあわせ孫七沢林道としての経済効率が高まることと併せて三木田開田の農道として併用され、多年関係住民の宿願であった夢も名実ともに三木田部落の生命線として完結をみる見込みであります。

農林関係

農林部門では何んと言っても農業後継者を養成することが基本であり、男子のみになく女子ともに行なわれなければならないと信じております。

町財産等の造成

この町政の厳しい現実のなかで、その道を迷うことは悔を千載に残すものと考へ、この苦しさを現在の町民の子供たちに引継ぐべきでないかと決意し、町村合併当時において先覚者三浦義幹氏を委員長とする町有財産造成特別委員会の案に基き、町有財産の計画的な造成に着手して来ました。

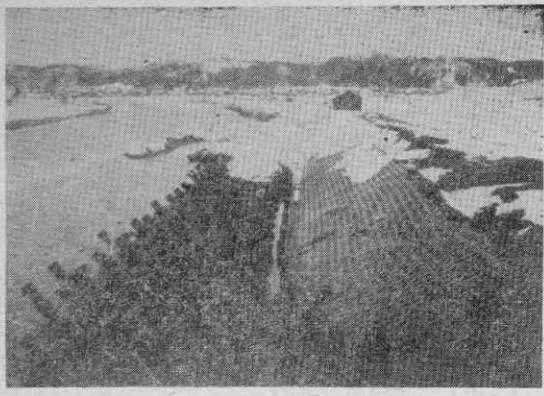
管内の水田の全面積に相当するもの

管内の水田の全面積に相当するものとして、その経済性が如何に合川町の農業経済を支えているものであるかを背けるものと思ひます。

この世の事業も近代的な調査と技術によって確実なものであることは随處で開拓によって立証されているところであり、今こそ合川町農民の意思を結集して後継者がその農家と祖先の基盤を継承して行けるような決断が必要だと痛感するものであります。

春のおとずれ

今年は予想外の大雪、彼岸を送ったと言うのにまだまだ残雪いっぱい。川の流れだけが春のおとずれをつげること。【阿仁川の流水=合川橋にて】



合計して二五九・一管理し、そのうち大内沢部分林六・六及び小沢沢（国有林）二四等は現在樹齢二十年の美林に成長し、この数年中には開伐期に入ると見込まれます。私の、この地味な仕事を町政の繁忙なかで深く愛し、累年にわたり、これを継続してきたことを基本的な姿勢への努力のための心の支えとして参りました。

また、町民各位は町村合併当時の混乱期から納税組合を通じた自主的納税機軸の方針によき協力され、当初は県内でも税の収納率が極めて悪かった合川町が現在では県内第四位という輝かしい実績を示し、この間に苦しかった町財政に強く貢献したのみならず、この実績は町が国及び県に対して援助を求め補助金、交付金の有利な配分となつて苦しい歳入に比較して町の事業を活発に推進する大きな力となつて居ることを深く感謝するものであります。

また、町民各位は町村合併当時の混乱期から納税組合を通じた自主的納税機軸の方針によき協力され、当初は県内でも税の収納率が極めて悪かった合川町が現在では県内第四位という輝かしい実績を示し、この間に苦しかった町財政に強く貢献したのみならず、この実績は町が国及び県に対して援助を求め補助金、交付金の有利な配分となつて苦しい歳入に比較して町の事業を活発に推進する大きな力となつて居ることを深く感謝するものであります。

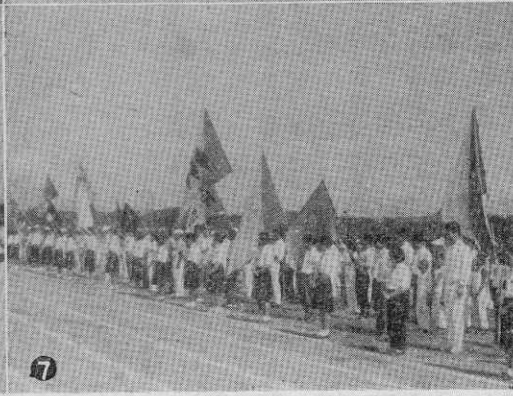
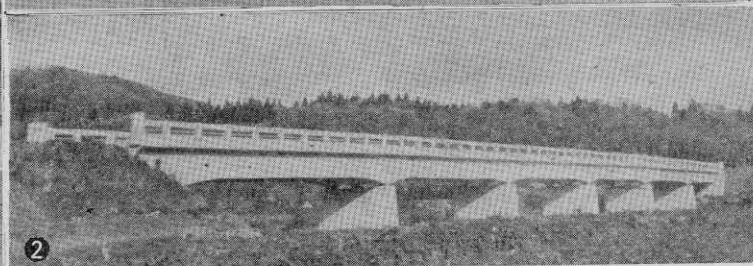
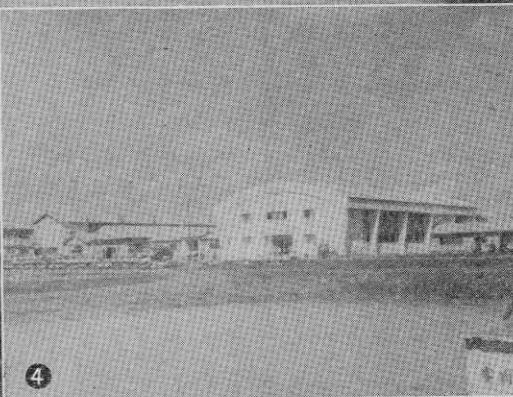
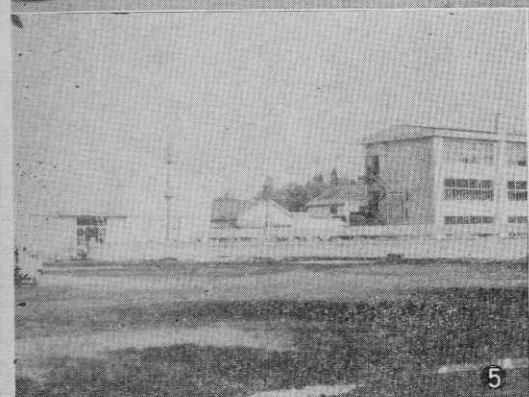
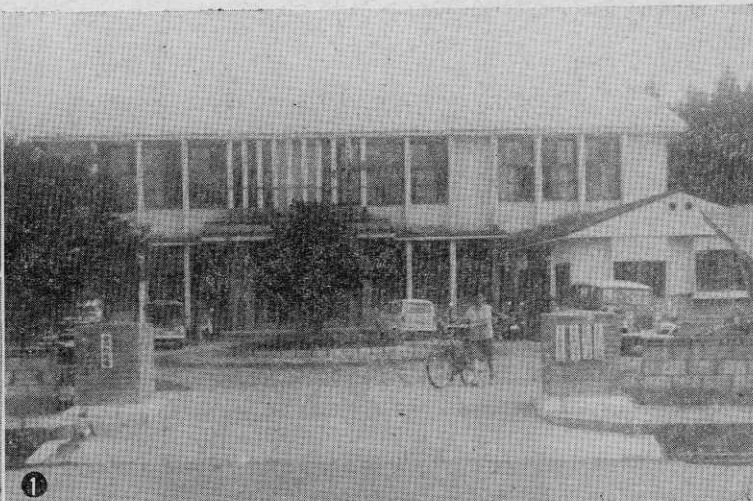
また、町民各位は町村合併当時の混乱期から納税組合を通じた自主的納税機軸の方針によき協力され、当初は県内でも税の収納率が極めて悪かった合川町が現在では県内第四位という輝かしい実績を示し、この間に苦しかった町財政に強く貢献したのみならず、この実績は町が国及び県に対して援助を求め補助金、交付金の有利な配分となつて苦しい歳入に比較して町の事業を活発に推進する大きな力となつて居ることを深く感謝するものであります。

また、町民各位は町村合併当時の混乱期から納税組合を通じた自主的納税機軸の方針によき協力され、当初は県内でも税の収納率が極めて悪かった合川町が現在では県内第四位という輝かしい実績を示し、この間に苦しかった町財政に強く貢献したのみならず、この実績は町が国及び県に対して援助を求め補助金、交付金の有利な配分となつて苦しい歳入に比較して町の事業を活発に推進する大きな力となつて居ることを深く感謝するものであります。

また、町民各位は町村合併当時の混乱期から納税組合を通じた自主的納税機軸の方針によき協力され、当初は県内でも税の収納率が極めて悪かった合川町が現在では県内第四位という輝かしい実績を示し、この間に苦しかった町財政に強く貢献したのみならず、この実績は町が国及び県に対して援助を求め補助金、交付金の有利な配分となつて苦しい歳入に比較して町の事業を活発に推進する大きな力となつて居ることを深く感謝するものであります。

また、町民各位は町村合併当時の混乱期から納税組合を通じた自主的納税機軸の方針によき協力され、当初は県内でも税の収納率が極めて悪かった合川町が現在では県内第四位という輝かしい実績を示し、この間に苦しかった町財政に強く貢献したのみならず、この実績は町が国及び県に対して援助を求め補助金、交付金の有利な配分となつて苦しい歳入に比較して町の事業を活発に推進する大きな力となつて居ることを深く感謝するものであります。

満10歳になった町のすがた



①町づくりを推進する町の頭脳、役場庁舎(三十二年七月竣工)
②この十年、町内の橋梁整備はすばらしいものがある。三十二の芹沢橋をトップに阿仁川橋(三十三年)、高長橋(三十五年)、三里橋(三十七)、鎌沢橋(四十年)が永久橋となり落合橋、杉山田橋、新田目橋もそれぞれ架替られた。
③町の大動脈李岱(駅前)の直線道路も町の単独事業として四年の歳月と三千万に及ぶ工費をもって三十二年十一月竣工、三十八年十月県道へ編入される。
④地域の感情、財政的な困難を克服して町づくりを

担う若人の学舎合川中学校が完成(三十八年十二月)
⑤三十七年四月秋田短大付属合川高校が旧東中あとに開校、三十九年十一月鉄筋コンクリート三階建の超モダンな新校舎もでき、私学の特徴を生かした高校教育が行なわれている。
⑥数々の思い出のなかで一万二千の町民が誇りとするもの、それはすばらしい町民体育祭だ。憩いのなかから新しい町づくりの和が生れる。
⑦合併協定事項中の最難関事と目された営林署誘致もたゆまぬ努力で三十二年十二月実現をみる

ハンコ(印鑑)の話

一役場の窓口から一

私ども一生の間、ハンコ(印鑑)は、ただ「ハンコ」を使用するだけ。まづ生れるとすぐ出生届をしなればなりませぬ。ハンコがこれ。ハンコがなければ、用が足りません。その外、婚姻、養子縁組、転籍、死亡と戸籍関係でも殆んど「ハンコ」を必要としないことは先ずありません。

税金の申告、或は不動産の登録等役所関係で使われる「ハンコ」の数も数えきれない程あるので誰言うとなく「ハンコ行政」などありがたくない言葉まで出来る仕度です。しかし「ハンコ」は役所だけが使うものではなく、私達は日常何をするにも「ハンコ」の世話にならなければならぬのです。商取引をするにも或いは人と人が約束をするにも又郵便局や銀行に貯金するにも必ず「ハンコ」が必要なのです。

これ程何をするにも「ハンコ」が必要であると言うことは、いかえれば「ハンコ」さえあればどんなことも出来るということになります。従って自分の「ハンコ」はまずなによりも大切に取扱わなければならぬ。特に役場に登録している「ハンコ」は、印印です。その取扱いは、充分注意しなければなりません。

職員の態勢

私は、本年の年頭に際し町職員に訓示し、その中で「町の職員は、完全に自分の職務を知り、克つ行なうこと。次に、ある係が多忙のときは課あるいは係の壁を越え、他の係に協力し、何とぞ町全体の業務を円滑に遂行し、重要な性格を強めること」を強調しました。

民生事業

私たちの合川町は、全県なかで厚生事業の優良町村としてこの三月に表彰をうけました。この栄誉を汚さないように今後とも努力を傾注するとともに日夜この事業にご協力下さった町民各位に深く感謝申し上げます。

その他

青少年の健全育成には更に基本的な方針を検討させ、充実した基本方針を基に町民運動の一環としてその運動を推進いたします。また、へき地の子供に遊具を与えて地域のな問題の解決に努力いたします。

むすび

この三月三十一日は、わが合川町が発足してから満十歳の記念すべき日であり、この間、私は町民の付託に応じて一貫して町政を担って参りましたが、いま考へるとその力の足らなさを痛切に感ずるものであります。

か、国や県からの委託事務が多く、また町民サービスのための外務職員の配置を要望されている段階において、慢然とその必要を理由に職員を増員し人員費を増すことは町政の自給行為であり、また終局的には職員利益と連なるものではないと考へております。

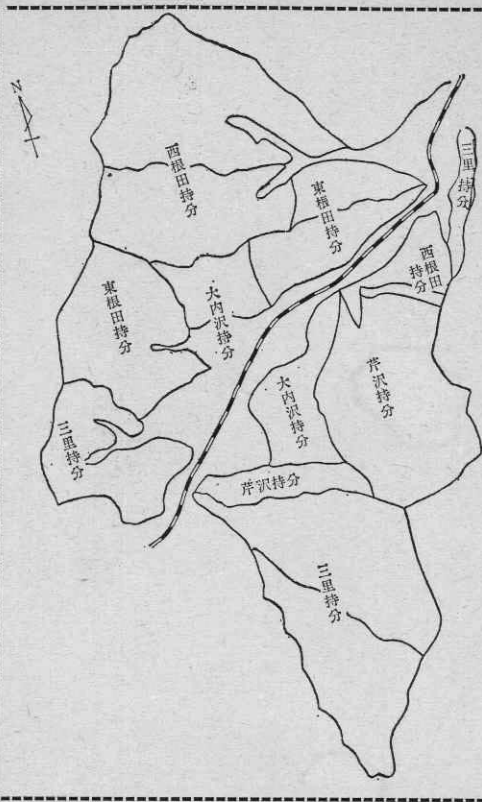
入会地の配分まきまる

南地区 五部落 話し合い実り

話し合いのなから地域の問題を見出し、皆の協力で解決を図っていかうとする部落づくり運動は次第に住民の理解と協力が深まりつつあります。その話し合いの努力が見事功を奏し、十年らしい懸案事項であった入会地問題を解決した南地区下五部落の話題を紹介しよう。

この入会地は、三里字大の採草を殆んどやらなくなった内沢谷地を中心とする三里、従来と変わった土地の利四、古くから採草、薪炭用を園る必要がでていた。などの五部落の共有として、そこで五部落共有から各部利用されてきたものだが、落ごとの管理区分をしよう最近では農家が堆肥のため」として部落代表者によって話し合いはなかなか進展し

五部落入会地野配分略図



ご入学おめでとう

ことしの新入生

今春四月、町内の四小学校に入学する児童は次のとおりです。

【道城】 武志 関邦夫 和田聡 永井直 工藤一也 永井善則 永井義之 米倉武俊 足田敦子 工藤吉子 山崎洋子

【下杉】 後藤俊広 桜井文博 桜井勇 後藤栄子 木村牧子 新田柳子 木村久美子 木村幸子

【桃栄】 近藤久美子 山田美子

【梅栄】 木村ノリ子

【駅前】 工藤敦利 松井巧 佐藤弘 兼嘉 佐藤俊 佐藤純 桜田博光 桜田秀子

東小学校

【道城】 永坂昇 小林智 松橋恭一 小林ひろみ 小林敦子 森岡滋子 津幡恵子

【上杉】 米倉正孝 工藤正史 疋田行 成田雅彦 鈴木一博

西小学校

【東根田】 加藤勝弘 桜田正仁 桜田香子

【新田目】 松岡豊広 松岡義徳 金田正義 松岡勉 松岡いな子 松岡真由美 鈴木富子 坂上久恵子 松岡光子 松岡香子

南小学校

【杉山田】 石上文英 伊藤久夫 伊藤勝夫 伊藤寿 伊藤泰子 伊藤深雪

【雪田】 山岡耕悦 山岡操 山岡悦子

【鎌沢】 福田孝喜 御廻野光悦 鈴木悟

北小学校

【八幡岱】 白渡静忠 藤田学 柴田武則 高橋一也 藤田勝幸 柴田

子どもを交通事故から守りましょう

寒さがゆるみ始めると毎年のように交通事故が多くなっています。とくにこの時期は子どもたちが戸外に出ることが多くなっています。家庭や周囲の人たちはつぎの点に注意して事故防止につとめたいものです。

こどものうちでも事故のいちばん多いのが幼児です。その原因は「ひとり歩き」によるものがほとんどです。保護者と一緒でなければ道路を歩かせないように、そしていつでも目を離さないようにすることが大切です。

買物などに連れて出るときにも、子どもは車の通る側におかないことです。しっかりと手をにぎって道路に飛び出さないように気を配りましょう。

保育所や、小学校に通うようになったこどもには理解力に応じて信号の見方、道路の横断のし方歩き方などを教えることが安全のためのしつけとしてぜひとも必要です。ですから、機会あるごとに教えるようにしましょう。



新病院長に 小沼先生

小沼先生は弘前市の出身、昭和十七年十月帝國女子医学部卒業、東京都、岩手県内の病院、診療所、弘前大学医学部等に勤務、三十五歳で、建設費は建物百四十万円、重油式火葬炉九十七万円はか付工事あわせて総額三百七十五万三千元に建設工事を始めることにした。

黒沢七曲坂地点に設置

大館市に開業することになり、その後任としてさきごろ公立米内沢病院から小沼政子先生(写真)が着任されました。

小沼先生は弘前市の出身、昭和十七年十月帝國女子医学部卒業、東京都、岩手県内の病院、診療所、弘前大学医学部等に勤務、三十五歳で、建設費は建物百四十万円、重油式火葬炉九十七万円はか付工事あわせて総額三百七十五万三千元に建設工事を始めることにした。

合川町、森吉町、上小阿仁村の三カ町村火葬場施設組合の初議会が二月二十五日午前十時から森吉町役場会議室で開かれ、正副議長、監査委員、条例、規則、予算を決めたほか、火葬場の設置場所を県道米内沢沖田間面の米内沢黒沢七曲坂地点(米内沢大杉より二百二十メートルの位置)に決定し、昭和三十九年度事業として昭和四十年に建設工事を始めることにした。

小学生に事故が目立つのは、自転車に乗っているときです。自転車は歩行者よりもさらに危険の度合いが大きいので、自転車を買い与えると同時に交通規則を身につけさせることです。つまり道路の左端を一時停止、踏切の安全な渡り方、手信号のやり方、ふたり乗りの禁止など安全のための心得をしっかり身につけさせることです。

町民のこえ

みんなの意見、力を出し合って明るく住みよしが合川町の建設、これが町政のモットーです

あるんですが、それは現在一月十五日から翌年の一月十四日までこの議会で本町の関喜兵衛氏が議長に、学識経験のある松岡忠氏に松岡忠氏がそれぞれ選ばれた。

この方法によると一月十六日から四月一日までに生れた人たちが一年後輩の人たちと成人式をやらなければなりません。当町としては、あなたのご意見があるように、社会人として大人の仲間入りする記念すべき感激は同級生全員が参加して分ち合うことには大きな意義があるものとの立場から明年度の実施の方法を検討いたしております。

同級生総参 加の成人式

これまでも成人式の参加者は一月十五日の成人の日までに満二十歳に達した人を成人式にお願いが会員としてきました。

合川町公民館

学級会計の残金社福へ

この四月、合川中の最上級生として輝く伝統を受け継ぎ各自の将来へのコースをめざし中学生として最後の頑張りかけようとして、かたく青少年の非行が言々されている折柄、この明るい中学生の善意を町の社会福祉に生かしたいと係は喜んでいる。

この中学生とは合中二年四組三浦一英君及び二年六組鈴木博美君らの百名で学級会計を決算したところ、剰余金があり、その処分について相談した結果、町の社会福祉に使ってもらいたいという三浦君ら代表者が町社協の係へ届け出たものが、かたく青少年の非行が言々されている折柄、この明るい中学生の善意を町の社会福祉に生かしたいと係は喜んでいる。

防犯灯を贈る 合川協電会

合川町社会福祉協議会、代表 三浦一英、鈴木博美

防犯灯を贈る 合川協電会

二題善意に拾う

防犯灯を贈る 合川協電会

町民のこえ

町民のこえ